

2021年1月8日

## 第一内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「手術ハイリスク症例の急性胆嚢炎に対する内視鏡的ステント留置群 vs ドレナージ抜去群の長期予後の比較検討」への協力のお願い

第一内科では、岐阜県総合医療センターとの共同で、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2010年11月から2018年12月に急性胆嚢炎に対し経乳頭的内視鏡的ドレナージ(ETGBD)もしくは経皮経肝ドレナージ(PTGBD)のどちらかを施行された患者様

**研究期間：**承認日～2023年12月31日

**研究目的・方法：**

急性胆嚢炎に対し経乳頭的内視鏡的ドレナージ(ETGBD)もしくは経皮経肝ドレナージ(PTGBD)のどちらかを施行された患者様の臨床データをデータベース化し、後方視的に観察することでエビデンスの構築を図ります。

**研究に用いる試料・情報の種類：**

年齢、性別、治療施行日、治療方法、抗血小板薬/抗凝固薬の有無、胆嚢結石の有無、総胆管結石の有無、手技成功の有無、臨床的奏功の有無、胆嚢炎重症度、早期偶発症の有無、晩期偶発症の有無、晩期偶発症出現日、最終転帰、経過観察期間、手術ハイリスク因子(ASA-PS、age-adjusted Charlson score、Karnofsky score)

**外部への試料・情報の提供：**多施設共同研究のため、研究に用いる情報は岐阜県総合医療センターに集積されます。

**研究組織：**

岐阜県総合医療センター 消化器内科 丸田 明範

岐阜大学医学部附属病院 第1内科 岩下拓司

## 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会ならびに岐阜県総合医療センター倫理委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

## **研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

## **連絡先**

岐阜県総合医療センター 消化器内科

電話番号：０５８－２４６－１１１１

氏名：丸田明範

岐阜大学医学部附属病院 第一内科

電話番号：０５８－２３０－６３０８

氏名：岩佐悠平

## **研究責任者**

岐阜県総合医療センター 消化器内科 氏名：丸田 明範

## **研究事務局**

岐阜県総合医療センター 消化器内科 氏名：丸田 明範